

第2号

発行日 平成14年春号

曹洞宗 慈雲山松田院龍源寺

# 山雲水月

発行責任者 龍源寺住職 後辺啓司

平成14年

龍源寺 年関予定表

- 1/1 年頭祈禱
- 1/3~4年始挨拶
- 2/3 ※節分会
- 2/15 ※涅槃会
- 3/18~24 春彼岸
- 3/23 曇影山倒祭
- 4/8 ※花祭り
- 4月末 施食会法要
- 7/12~16県外檀家棚経
- 8月上旬※子供様の集い
- 8/13~16 お盆
- 9/20~26 秋彼岸
- 12/8 ※成道会
- 12/31 除夜祭
- ※は仁叟寺にて修行予定

## 諸行事報告

~役員さんはじめ ボランティアの皆様、  
どうもありがとうございました~

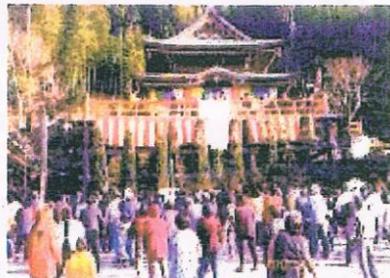


だいせつぶんえ  
「仁叟寺大節分会」

じょやえ  
「仁叟寺除夜会」

おおみそか  
毎年大晦日深夜より元旦未明にかけての一大イベント  
今年は十三重石宝塔前の舞  
台で、胡弓・尺八・琴・ギター  
のミニ・コンサートも開催。好評を博しました。

まめま  
毎年2月3日に行われた豆撒き  
あいにく  
今年が生憎の小雨でしたが沢山の  
方々が訪れてくださいました。靈験あ  
らたかな中国山西省五台山請来  
もんじゅぼさつ えんにち  
文殊菩薩の縁日でもあり、地域に定着した行事となりました。



だいはんにやえ だいせじきえ  
仁叟寺「大般若会」・「大施食会」

毎年3月の第2日曜日に修行  
江戸時代より脈々と伝わる仁叟寺の伝統行事。大般若経の風に  
当るとその年は無病息災になると伝えられています。

### 目次:

諸行事報告	1
坐禅会	2
俊司送行	2
仁叟寺通信2	3
法要通知	3
寄付者一覧	4
編集後記	4



ていきざぜんかい

## 定期坐禅会の開催



坐禅会の様子

以前から随時申し込みを受けて開かれていた各種坐禅会ですが、この度、副住職の龍道が中心となり、定期的な坐禅会を立ち上げることになりました。

「最近若い人を中心に坐禅に興味を持つ方が増えております。また、仕事をしている方にも来ていただけるよう、夜に行いたいと考えています。」と副住職。開

始は4月から毎週水曜日の午後7時から約1時間を予定。第1回目は、4月3日(水)午後7時から仁叟寺坐禅堂において行われる予定です。

英語で「ZEN」という言葉は、知らない人がいないほど、海外において定着しております。自国の伝統文化を知るためにも、また禅を組み己を見つめてみるためにも、是非この定期坐禅会に参加して禅を体験してみたいかがでしょうか？

そうあん

## 弟子俊司 總持寺送行

去る3月3日に弟子の次男・俊司の僧堂乞暇式が大本山總持寺で行われました。僧堂乞暇式は送行とも言い、僧堂での厳しい修行のいわば卒業式といった儀式です。同じ釜の飯を食べた友人僧やお世話になった役寮さん(指導役の僧侶)らが見送る中、新しい生活へと各自旅立って行きます。

俊司は長男・龍道同様2年間の修行を無事、勤め上げました。駒澤大学仏教学部禅学科を休学しての、本山での修行生活でしたので、4月からは同大学へ復学をし、再度勉学の道へと進むこととなります。

「これからは、總持寺で得た経験を活かして、学生生活を実りあるものにしたい」と、これからの新生活に向けての抱負を語っていました。



修行中の布教弁論大会での一コマ(題『理想と現実』で優秀賞を授賞)

しょうご

## 渡辺章悟氏、東洋大学教授に就任



自著『大智度論の物語』を手にする章悟教授

住職の弟の渡辺章悟氏(高崎市江木町在住、49歳)が、今年度より東洋大学文学部の教授に就任。専門は、初期の大乗仏教の研究で、現在同大学文学部印度哲学科で教鞭を執っています。

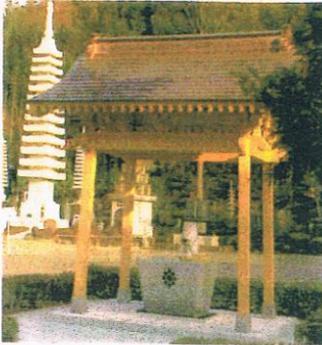
章悟教授は渡辺隆司東堂の次男として1953年に仁叟寺で誕生。以来、多胡小学校、多胡中学校を経て高崎高校に通う間、仁叟寺で育ちました。その後、法政大学、東洋大学大学院、インド・デリー大学

などを経て、1994年に東洋大学助教授に就任。

現在は、仏教伝道協会の研究員としても活動をし、仏典の翻訳を行っており、また著書・論文なども多数発表しております。

また、『仁叟寺史』編集委員として、「仏教の起源とその展開(仮称)」の章を担当しています。今後の氏の更なる活躍を祈念しております。

## 仁叟寺通信 2



仁叟寺入り口付近に  
完成した『水屋』

仁叟寺入り口、惣門をくぐったすぐの場所に、『水屋』が完成しました。建物は子持村の宮大工・堂宮入秀社寺建築(株)が行い、国産の青森ヒバが使われています。中に鎮座する龍口は中国・福建省の石が使われ、通常のそれとは異なり、かなり大きな型となっております。

歩道の主要コースにも指定されており、水屋の設置は必要でありました。

一般的に大きな神社仏閣に参りますと、入り口に水屋があります。本来ならばそこで身を清めるのが通例です。まず、手を洗い、そして口を濯ぐ。そうすることにより、より清らかな気持ちで参拝をして頂くことができます。“心を清める”、それがこの水屋の大きな役目でございます。

以前から寺に参拝に訪れる方々より、入り口に手や口を清める水屋の設置が求められておりました。また、当寺は吉井町歴史遊

参拝者のもとより、檀信徒の皆様もお墓参りや参詣に訪れた際には是非ご利用ください。

## 年忌法要のご通知

既にご存知の方も多いかと思われませんが、今年より年忌法要のご通知をハガキにて該当する檀家さんに送らせております。以前から年忌法要の確認は各家自身でされるか、年賀の際の寺本堂に貼り出される年回表を見るかのどちらかでした。残念ながら忘れる方も多く通知の発送は時代に合わせた、急務であったといえます。

また、総代会・役員会においても、「年回該当者に通知を出してはどうか」といった意見も出されておりました。

なお、法要の申込みはお早めに当寺までご連絡のほど、お願いいたします。



龍源寺参道の梅



釈迦誕生像に、  
甘茶をかける

## 花祭りのお知らせ

4月8日はお釈迦さまの誕生日・・・キリスト教のクリスマスは有名ですが、仏教でもお釈迦さまのお誕生日をお祝いいたします。名称は「降誕会」。「花祭り」といった方がピンと来る人が多いのではないのでしょうか？

お釈迦さまが誕生された際、甘露の雨が降り注いだという故事に基づき、お釈迦さまの誕生像に甘茶をおかけいたします。本寺・仁叟寺でも毎年、町の幼稚園・保育園生はじめ多くの方々を迎え、「花祭り」を行っております。

興味のある方は是非、仁叟寺へ参拝され、甘茶をかけ、この伝統ある行事に参加してみたいかたでしょうか？当日は記念品もご用意させて頂いており、沢山の方のご参拝をお待ちいたしております。

## 平成12・13年度 寄付者一覧

### 平成12年度

そとうば  
卒塔婆立て

小串 小池光江殿

ほうおうきんらん  
鳳凰金襴袈裟

多胡 出牛均殿

### 平成13年度

長屋門会館ガス給湯器及び取  
り付け工事一式

吉井 城代裕一殿

しゃかによらい  
釈迦如来切り絵

長根 江川房江殿

だるまだいし だいごんぼさつ  
達磨大師・大権菩薩各座像  
東京 白田庄次殿



達磨大師座像



大権菩薩座像

虎切り絵

矢田 飯塚千恵子殿

シンビジウム

高崎 須川勇殿

しょうけい  
小馨バイ

高崎 放光殿

くりたみが  
本堂・庫裡畳替え

平成12・13年度新盆家一同殿

野菜沢山

矢田 金井淳太郎殿

漬物・野菜沢山

多胡 杉田彰殿

梨沢山

藤岡 富井巳侑殿

## 行雲流水 (編集後記)

編集人 副住職 渡辺龍道

厳しかった冬もようやく終わり、梅の香とスギの花  
粉が春を告げに参りました。私事で恐縮ですが、ス  
ギの花粉には毎年悩まされております。薬を服用し  
たり、こまめに洗顔をしたりと対策は練っているの  
ですが、何か良い方法があればご教授ください。

さて、「龍源寺報一山雲水月」第2号、いかがだっ  
たでしょうか？何か記事にしたい事などありましたら  
是非、副住職までご一報ください。また、前号でもお  
伝えしたとおり、当寺は仁叟寺との兼任であり、編  
集人も仁叟寺の副住職を兼ねております。そのた  
め、仁叟寺関連の記事が多くなってしまいますが、  
その点ご了承ください。

本寺・仁叟寺では1月の除夜会、2月の節分会、3  
月の大般若会・大施食会と主要大行事が目白押し  
でした。滞りなく円滑に無事圓成したのも、檀家役  
員さんの協力のお陰であると改

めて感じされました。

また、3月18日(月)から24日(日)まで、春の「お彼  
岸」です。このお彼岸、元々は「日願」と書き、昼と夜と  
の時間が同じになるこの頃に、作物の豊作を太陽に祈  
願したのが起源だと言われていおります。ちなみに、  
秋彼岸も同様で、こちらは収穫に感謝の祈願を行った  
そうです。平安期に仏教行事と結びつき、また先祖信  
仰も加わり、日本独自の伝統行事「お彼岸」が形成さ  
れ、今日に伝わ  
ております。この  
季節、是非、  
菩提寺や各家の  
墓所に参拝をし、  
ご先祖様に感謝を  
し、手を合わせま  
しょう。

